

一般質問



議員が町政を質す！

第1回定例会では、8人の議員が一般質問を行い、2日間にわたり活発な議論を展開しました。質問と答弁を要約した内容は、14ページから17ページです。

質問議員（質問順序）		質問項目	頁
1	 (議会を代表しての質問) 五十嵐 正 康	①会津坂下町の財政健全化と明るい将来像について ②会津坂下町の産業の活性化について	P 14
2	 五十嵐 一 夫	①町の活性・振興に欠かせない、宿泊企業誘致活動の取り組みを問う ②交流人口拡大にトイレは喫緊の課題 ③生活交通としての公共交通バス対策事業取り組みを問う	P 14
3	 横 山 智 代	①環境・ゴミ減量等について ②教育行政について ③職員の人材育成について	P 15
4	 佐 藤 宗 太	①災害と防災について ②自己財源確保について ③将来に求められるITや国際化へ向けた教育環境について ④冬期間の通学バスの無料化についてどのような検討がなされたのか	P 15
5	 渡 部 正 司	①地域づくりについて ②役場窓口対応について	P 16
6	 小 畑 博 司	①ばんげ学を進化させ、町の担い手を育てよう ②ふるさと回帰の機運を活かせ	P 16
7	 赤 城 大 地	①第六次振興計画実施計画について	P 17
8	 物 江 政 博	①鳥獣被害について ②町道について	P 17

※一般質問・・・議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点を質すこと。会津坂下町議会では質問答弁を含めて、1人50分以内としています。

第1回（3月）定例会の一般質問録画配信中

議会基本条例に基づき、町民に開かれた議会を推進するため一般質問を録画配信しています。

町のホームページまたはYouTubeでご覧になれます。



令和2年第2回定例会は、6月4日から6月12日までの会期（予定）です。

一般質問は6月8日（月）、9日（火）午前10時開会予定です。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴の際は手指の消毒、マスクの着用にご協力下さい。



五十嵐正康議員

財政健全化施策を問う

繰上償還や独自財源確保に努めます

問 公債費の平準化の考えと独自財源確保のための政策は。

答 基金積み立ての状況や各種財政指標の推移を見極め、財政健全化の取り組みの中で最適な時期に自主財源による繰り上げ償還を検討してまいります。

独自財源確保につきましては町税の収納率の維持、ふるさと納税の推進、未利用財産の積極的な活用・処分及び、公共施設に対してのネーミングライツ事業の実施等について進めてまいります。

問 公共施設等総合管理計画の取り組みのための、今後10年間で必要とされる予算の規模は。

答 現在、公共施設総合管理計画（個別施設計画）の見直しをするため、今後10年間に見込まれる修繕及び長寿命化の需要量調査を実施しております。それらに基づき修繕・更新費用の平準化を図り、財政に与える影響を最小限にしながら、施設の維持・管理に取り組んでまいります。



ドローンを活用したスマート農業

今後の農業施策の強化はスマート農業の基盤整備を行います

問 農地のインフラ再構築と高度ICT活用により国際競争力の強化を。

答 今年度から開始した「人・農地プランの実質化」を推進させ、農地集積の向上を図りスマート農業に対応した基盤整備を行いながら取り組んでいきます。



五十嵐一夫議員

ホテル誘致の必要性を問う

波及効果は大きいと認識

問 町の活性・振興に欠かせない、ビジネス・ツーリストホテルの誘致の必要性、効果、取り組みの姿勢について問う。

答 企業誘致と同様に、地域への波及効果が大きい、有意義な取り組みと認識しています。会津坂下町では採算の取れる稼働率6割は大変厳しい数字であります。宿泊企業を含めたサービスマイニングの誘致にも重点を置き、これまでの製造業を主体とした企業誘致と一体的に取り組むとともに、未使用公共設備を活用した宿泊施設への整備についても模索してまいります。

問 バス利用の通院者においては診察後の待ち時間が長く、バス待合所はお粗末、高齢者には耐えがたい、午前便の増便ができないのか、タクシーとの協力、西会津線との協力ができないのか。

若松や喜多方への便は通学バスが仕立てられている、提携すれば路線の利便性が向上するが提携の取り組みがで

きないのか等公共バス対策事業を問う。通学時間帯の利用は多いものの、それ以外の時間帯の利用が少ないことが課題であります。

答 住民の生活を支える交通手段を確保するため、既存の形態にかかわらず、事例等を調査・研究し、利用しやすい公共交通にしたいと考えています。タクシーとの協力については、タクシー券の補助について検討します。通学バスの路線バスへの切り替えは困難であります。



西会津町民バス 野沢坂下線

乗るにも自由で、内でも下野沢坂降の

これも質問

問 交流人口拡大にトイレは喫緊の課題。

答 必要不可欠ですが、現在の財政状況では厳しいです。



材質(ポリエチレン)を
見直してほしい要望が
ある「破れやすいゴミ袋」



横山 智代議員

ゴミ袋の価格は下げられないか！
今後も現状の事業を継続します

問 ゴミ袋の品質・価格について伺う。

答 ゴミ袋の品質は、材質にポリエチレンを使用。可燃袋で0.04ミリメートル、不燃袋で0.04ミリメートルです。取り扱い上の注意はロールを束ねてある紙に記載されております。ポリエチレンは、引っ張りに強く、伸びにくいという特性があります。以前の炭酸カルシウム含有の袋に比べ、燃やしても有害ガスやダイオキシン等の発生もなく、環境にやさしいエコ素材であり、今後もこの材質を使用して参りたいと考えています。価格ですが、ごみ排出量の削減及び排出者の負担の公平化を目的にごみ処理有料化を実施しており、それに伴う処理手

数料は基金として積み立てし、廃棄物処理施設の整備及び廃棄物減量化推進事業に対応しています。今後も現状のごみ処理有料化事業の継続を維持して参ります。

学校給食費の助成はできないか
食材費は保護者負担としています

問 学校給食費の助成はできないか。

答 本町の学校給食の食材費については保護者負担とし、調理や運搬等、給食センターの運営に係る費用は、今まで通り町が負担する考えです。教育基本法及び学校教育法の規定に基づき、要保護・準要保護世帯の給食費は全額援助を行っております。

これも質問

問 職員の人材育成について。

答 より質の高い行政サービスの提供と町政発展のためには、人材育成は欠かせないと考えております。



佐藤 宗太議員

災害と防災についての課題は
自主防災組織の育成を図ります

問 災害と防災についての考え方は。

答 災害の影響を最小限に抑えたいとめるような防災体制を構築する必要がある。大きな効果が期待される自主防災組織の育成を図るとともに、「自らの命は自ら守る」といった考え方を基本に、その必要性や役割、防災訓練への積極的な参加等について、広く地域住民に啓蒙してまいります。

問 台風19号における被害の復旧状況は。

答 浸水被害家屋を除きますと、町の法面崩落2路線、農地の法面崩落が3箇所、用水路等の破損が2箇所、揚水機の故障が3箇所あります。このうち、町道勝負沢線につきましては、昨年12月9日に竣工しました。また、町道片門洲走線につきましても、昨年12月12日に竣工したところであります。

農地及び農業用施設につきましては、作付前の竣工をめざし、復旧工事を進めてまいります。



水害に対応する消防団

問 河川氾濫地域の現状と対策は。

答 水害で被災する地区につきましては、おもに細工名地区と片門地区であり、河川増水による内水氾濫が原因であり、現在、国及び県において、阿賀川と只見川の河道掘削工や築堤護岸工の河川改修工事が行われており、内水氾濫が改善されることを期待しています。また、只見川の河川改修工事においては、毎回浸水する箇所に排水用の大型集水柵の設置を要望いたしました。



渡部 正司議員

地域づくりへの町長の関与は

地域づくり推進会議を設置しました

問

令和2年度から配置される地域づくりコーディネーターの役割はなにか。町職員による地域づくりコーディネーターへの指導監督とはどのようなことか。

答

地域づくりコーディネーターを常勤職員として各コミセンに1人配置します。地域づくりを推進する中心的担い手として、各地区地域づくり協議会と連携し、地域課題の把握に努め、地域の人材を活かす「地域課題解決型」の取り組みをするものです。

問

また、まちづくりセンターへ町職員2名を配置し、業務管理、庁内関係部署との連携を図るなど、地域づくりコーディネーターを補佐してまいります。

答

地域づくりでの「コミュニティビジネス」の実態はなにか。持続可能な活動として充実させていくためにコミュニティビジネスの創設を重点事業に掲げました。地域資源を活用した特産品の開発・販売、リサイクルやイベントでの収益金を地域に還元する仕組みをつくりま



集い合う地域イベント(若宮地区町民大運動会)

窓口対応への苦情処理は どうしているか

窓口の改善等を行っています

問

窓口でのインシデント(事件・事象)の捉え方をどう考え、実践しているか。

答

事務や接遇において、様々な事象を見落とさないことが基本と考えています。事象を発見したものは、遅滞なく上司等に報告し、事象による被害を最小限にとどめ、原因調査や再発防止策等の検討・共有を図り、注意喚起等を行っています。



小畑 博司議員

ばんげ学を進化させ、町の担い手を育てよう

今後も、地域と学校が連携し郷土への理解を深め、町の課題を考えることの出来る子供を育てたい

問

町は坂下の魅力を伝えるため、副読本を作り小学生から学ばせておりますが、魅力だけではなく町の課題を共に考えていただく学びへの進化を検討しましょう。

答

現在、小学3年生に「副読本」を配布し、町の産業や伝統行事について学習しております。

また、中学生は「職業体験学習」などを通じて、地域貢献への意識を育んでおります。今後とも地域と学校が連携し町の課題を共に考えられる子どもを育てたいと考えます。

ふるさと回帰の機運を活かせ

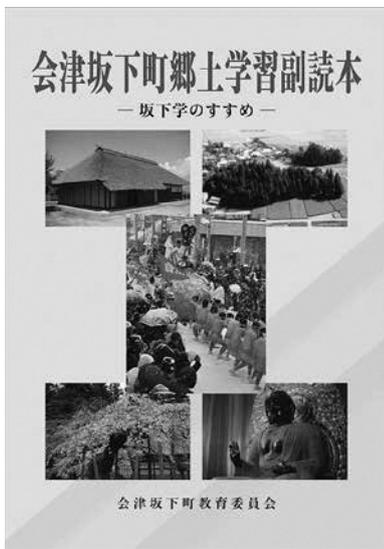
町の課題解決には有効と考えます

問

地域おこし協力隊は全国で5000名を超えて採用されている。ふるさと回帰の機運を活かし、まちづくりに活用せよ。

答

地域における担い手不足や、後継者不足などの課題解決に、ふるさと回帰の機運を活かすことは有効であると考えます。今後も、ふるさと回帰支援センターと連携を図り、交流人口・関係人口の増加、移住・定住につなげて行きたいと考えております。



郷土を知るために、もっと活かせ副読本



赤城 大地議員

若者集会での提案に

必要な予算を確保します

問 来年度より本格的に始動する若者集会での提案はどのように施策に取り入れられ予算措置がなされるのか。

答 若者による地域づくり推進事業は、具体的には坂下高等学校、会津農林高等学校の生徒が地域づくり活動に取り組む事業であり、会津大学短期大学部青木ゼミの学生に高校生のコーディネートを依頼しています。事業全体の運営については一般社団法人会津坂下青年会議所との連携により実施しようとするものです。多くの若者の思いが込められた「若者集会」からの提案には、地域に活力を与えられるよう、必要な予算を確保してまいります。

答 この二つの事業は、町内における雇用創出や経済の活性化など同様の目的を有した重要な施策であり、一体的に取り組むことでより一層の効果が得られると考えます。そのため、今後の取り組みについては、コンビニエンスストア空き店舗への運輸関連企業の誘致など、固定観念にとられない幅広い視点を持ち、関連する事業をつなげ一体的に取り組むことで街なかの賑わいと地域の活性化につなげてまいります。

町道の安全対策の施策を問う

各関係機関と連携して対処する



物江 政博議員

問 町道に自動車安全に運行するために施されているラインが少ない理由を伺う。

答 通学路等歩行者が安全に通行できるように、あえて車道幅を外側線により5.5m以下にし、自動車交通のスピード抑制を促す施工もしている。また、幹線道路等のラインが薄くなっている箇所につきましては、警察署を含めた関係機関による通学路等における合同安全点検により要望された箇所を順次施工し、道路交通安全確保に努めている。



早急な安全対策が望まれる原街道

問 東第一土地区画整理事業に伴う都市計画道路「坂下喜多方線」の進捗状況を伺う。

答 当該箇所について道路築造工事が施工されていない。事業遂行に当たっては工事費、移転補償費の高騰とともに水路の築造工事が町単独費による施工となる。今後は計画的に保留地処分を進め費用をねん出しながら、当該路線の整備を進めたい。

当町の鳥獣被害対策を問う

鳥獣被害防止総合対策交付金を活用

問 以前、購入した捕獲用罠の活用を伺う。

答 被害状況や生息状況を調査し、当町が保有する捕獲用罠を活用して、関係機関と連携を図りながら鳥獣の個体数の減少に努めてまいります。

従来の中心市街地にとられない施策が必要ではないか

固定観念にとられない施策を行います

問 街なか賑わい創出事業と企業誘致推進事業は従来の中心市街地や工場誘致にとられているように感



なんとか活用できないか空き店舗